

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 財団法人大阪国際交流センター

1 事業の趣旨・目的

日本語学習支援の教室を運営するにあたり、指導できるボランティアの資質向上を図る。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月30日 14:00～ 16:00	大阪国際交 流センター	臼井智美 鵜飼聖子 澤田幸子 橋下寛樹	平成23年度「ボランティ ア養成講座」研修内容 の検討	「プレスクール」や「ふれ あいサロン」など日本語 学習支援事業で活動で きるボランティア育成を 前提に養成講座を開催 する。
11月7日 18:00～ 20:00	大阪国際交 流センター	鵜飼聖子 澤田幸子 橋下寛樹	「日本語ボランティア養 成講座」実施に向けての 課題	8月の養成講座をふま え、「ふれあいサロン」で 活動できるボランティア の養成について具体的 な内容の検討。

3 講座の内容について

(1) 講座名 日本語学習支援ボランティア講座

(2) 目標 各種日本語教室で活動できるボランティアの育成

(3) 受講者の総数 99人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

(出身・国籍別内訳 日本 99人)

開催時間数(回数) 16 時間 (8 回)

講義 13.5 時間 (7 回) 実習 2.5 時間 (1 回)

(4) 参加対象者の要件 日本語学習支援教室等での活動を希望するボランティア

(5) 受講者の募集方法

チラシ、HP、広報誌、登録ボランティアへの活動紹介誌への掲載などによる広報で募集

(7) 会場

ア 講義 大阪国際交流センター会議室

イ 実習 大阪国際交流センター会議室

(8) 使用した教材・リソース

「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク刊)

(9) 講座内容

【外国人の未就学児童のための日本語学習支援ボランティア養成講座】

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
8月24日 19:15～20:45	外国にルーツをもつ 子どもたちの状況	臼井智美(大阪教育大学 准教授)	35人
8月31日 19:15～20:45	外国にルーツをもつ 子どもたちへの初期 指導について	臼井智美(大阪教育大学 准教授)	27人
9月6日 19:15～20:45	松阪市外国人児童 生徒のための教室事 例	小筆邦昭(松阪市教育委 員会指導主事) 岡本美矢子(松阪市教育 委員会指導従事) 臼井智美(大阪教育大学 准教授)	21人
9月7日	ワークショップ「子ど もの実態に応じた教 材作り」	臼井智美(大阪教育大学 准教授)	23人

【日本語教室ボランティア養成講座】

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
2月11日 10:00～12:30	地域の日本語教室と ボランティアの役割と は	澤田幸子(AOTS 関西研 修センター日本語講師)	50人
2月18日 10:00～12:30	対話型活動の進め 方について	澤田幸子(AOTS 関西研 修センター日本語講師)	50人
2月25日 10:00～12:30	対話型活動における 教材の上手な使い方	澤田幸子(AOTS 関西研 修センター日本語講師)	45人

3月3日 10:00～12:30	実践演習 「やさしい日本語の 達人になってみよ う！」	澤田幸子(AOTS 関西研 修センター日本語講師	47人
---------------------	--------------------------------------	-----------------------------	-----

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

各回ごとにアンケートを実施。講座の満足度については、97%が「たいへん満足」「満足」と回答し、「不満」という回答は0だった。

こども、大人を問わず、在住する外国人の現状を知ること、外国人への接し方の参考になったという意見が多く聞かれた。また、統計資料の見方についても新たな認識を持つことができたという感想も多かった。

② 実施主体からの研修内容結果評価

「子ども」を対象とした教室向けの講座、「大人」を対象とした教室向けの講座を実施したが、ボランティアとして「日本語」を指導することについて基礎的なことから、教材作り、実践と計画的な内容で実施できたことで、参加者には活動につなげていただくことができた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

子どもから大人まで、在住する外国人、外国にルーツをもつ方を対象に日本語学習支援事業を継続して実施していく。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

当センターがこれまで実施してきた各種日本語教室(ア～エ)

ア. 対話型(1対1)の日本語クラス「外国人ふれあいサロン」

イ. テキストを使用するクラス型日本語クラス「たのしい日本語」

ウ. 小学生～高校生(18歳ぐらいまで)の外国にルーツを持つ子どものため日本語学習支援教室「こどもひろば」

エ. 就学前の外国にルーツを持つ子どもたちのための「プレスクール」の運営体制の拡充を図った。

② 研修後の人材活用

各講座参加者が当センターが設置する「アイハウス・ボランティアバンク」にボランティアとして登録し、上記各日本語学習支援教室での活動を開始。

(12) 今後の課題

ボランティアとして日本語指導を希望する参加希望者が多く、今後も同様の講座を開催してほしいとの要望がある。ただ、講座には出席するものの、活動につながらない参加者がいる。今回の参加者のうち約 1/3 が当センターボランティアとして登録し、活動を開始している一方で、各教室の開催日時に活動できない、またもう少し日本語指導の勉強をしてから活動を始めたいなどの理由で登録を見合わせる参加者もみられた。当センターが主催する日本語事業だけでなく、他団体等で実施する教室の紹介などをおこなうとともに、他団体との連携や情報共有を図っていきたい。